

## 第14回 やくも学ジュニア検定～満点合格3名～

町内の小学校3年生以上を対象に実施している「やくも学ジュニア検定」は、今年で第14回目を迎えました。10月7日に八雲町公民館、落部支所の2会場で、子どもたちが挑戦しました。

この検定は、小学校3・4年生社会科の地域学習と関連し、“ふるさと八雲を知る”を目的に実施しています。

今年度は、100点満点を獲得し、「特級」に輝いた子が3名おりました。

このような検定に積極的に参加し、努力できる八雲の子どもたちは、まさしく“八雲町の宝”です。今回、級位を獲得した皆さんや惜しくも努力賞となった皆さんも、毎年挑戦することができるので、ぜひ来年も受検して「特級やくもマイスター」を目指してください。



## Googleスタッフから学ぶ「Google for Education パートナー 自治体プログラムを活用した中学校の探究活動」の発表会

10月24日、八雲中学校と落部中学校の3年生が上記プログラムを活用した「探究活動」の発表会を行いました。この活動では、Googleスタッフから年に5回、来校やオンラインでグローバル企業の専門的な技法を学び、1人1台の学習用端末を活用しながら、生徒たちがそれぞれのテーマに沿って探究活動を進めてきました。

今回の発表会は、活動の総まとめとして下級生に向けたプレゼンテーション方式で行われました。この活動を通じて学んだ「情報を得て活用する手法」や「主張や考えを相手に効果的に伝える技法」などを活かし、発表会では生徒たちの多くの工夫が見られ、探究活動への意欲や成果を感じる時間となりました。今年10月からは、町内すべての中学校で、2年生がこの活動をスタートしています。



## ～犯罪にあわないために～「こども手帳」贈呈式

10月30日、公益財団法人日本公衆電話会から町内の7小学校へ、交通事故や犯罪等から身を守るために「自ら考え、行動する」ことを学べる「こども手帳」が贈呈されました。

日本公衆電話会は、公衆電話の美化活動や清掃活動をはじめ、さまざまな社会貢献活動を実施している団体で、災害時における安否確認のための災害用伝言ダイヤル（171）等のPR活動を実施しています。

贈呈式では、小笠原勇人北海道統括支部理事から「事故や犯罪、災害などから自分を守るにはどうしたら良いか。子どもたちの安心・安全への意識を高めるために活用していただきたい。」とのお話があり、その後、災害用伝言ダイヤル（171）の訓練機を使っ

